

平成23年度第3回 血液事業部会運営委員会議事要旨

日時：平成23年12月13日(火) 16:00～18:00

場所：厚生労働省19階 専用第23会議室

出席者：

(委員)

半田委員長、大平、岡田、花井、牧野、山口各委員

(採血事業者)

日本赤十字社血液事業本部 田所経営会議委員、日野副本部長、石川血漿分画事業統合推進室主幹、五十嵐臨床開発課長

(事務局)

三宅血液対策課長、丈達血液対策企画官、伯野課長補佐

- 議 題：
1. 議事要旨の確認
 2. 感染症定期報告について
 3. 血液製剤に関する報告事項について
 4. 日本赤十字社からの報告事項について
 5. その他

(審議概要)

議題1について

議事要旨に関する意見等については、事務局まで連絡することとされた。

議題2について

感染症定期報告について、事務局から説明後、質疑応答がなされた。

議題3について

事務局及び日赤から、供血者からの遡及調査の進捗状況、血液製剤に関する報告事項、献血件数及び HIV 抗体・核酸増幅検査陽性件数について説明後、下記のような議論がなされた。

(血液製剤に関する報告事項)

事務局より、セラチア菌(*Serratia liquefaciens*)の感染疑い事例(死亡例)について報告がなされた。委員より、使用後バッグが残されておらず感染源の特定は困難であるが、保存期間や保存条件等から因果関係は否定的ではないかとの意見が出された。また、製剤の外観チェックや使用バッグの保存等の対応については、輸血療法の実施に関する指針や血液製剤等に係る遡及調査ガイドラインに基づき、引き続き、医療機関に対して周知を図ることが必要との意見が出された。

(献血件数及び HIV 抗体・核酸増幅検査陽性件数)

委員より、献血者における検査陽性件数と、都道府県ごとの人口あたりの検査件数を比較することで、検査目的で献血に流れている可能性の有無が検討できるのではないかと意見が出された。

議題4について

(血小板製剤の不活化技術)

日赤より、血小板製剤に対する不活化技術(MIRASOL)導入の準備状況について報告がなされた。委員より、共同開発企業を介する等して、より積極的に情報収集に努める必要があるとの意見が出された。

(日赤と田辺三菱の血漿分画事業統合の進捗状況)

日赤より、田辺三菱との血漿分画事業の統合に関する進捗状況について報告がなされた。東日本大震災の影響により両社間の検討開始が大幅に遅延したため、統合時期は当初の予定から6ヶ月延期し、平成24年10月となることが報告された。

議題5について

(XMRV 関係)

岡田委員より、XMRV に関する最新文献の報告がなされた。いずれの文献も血液を介したXMRV感染の事実を否定するものであったが、事務局においては、引き続き、情報収集に努めることとされた。

(フィブリノゲン関係)

事務局より、フィブリノゲン製剤の調査に係る公表事項の報告がなされた。

以上